

心配される第4波、ワクチン接種の効果に期待。新年度スタート

最近の状況

NEWS LETTER第19号をお届けします。緊急事態宣言は3月21日で解除になったものの、リバウンドが始まり、第4波が心配されています。ワクチン接種が早く軌道に乗って、その成果が現れ、事態が収束に向かうことを願うばかりです。こうした中で新年度がスタートしました。研究会の活動は、新型コロナ対策に留意しながら続けて参ります。みなさまくれぐれもお体をお大事に。

3月準定例会を開催しました

3月18日（木）19時半から21時にzoom準定例会を開催し、「インドネシアの水道とPPPプロジェクト」を取り上げました（説明者；山村）。4人の参加がありました。インドネシアの水道についての全般的な説明に続いて、インドネシア公共事業省が最近作成した「インドネシアの水道PPPプロジェクト」の資料紹介をしました。2020年から2024年の期間に見込まれる水道施設整備の資金需要（8243億円）の中で、PPP資金は2271億円（28%）と国家予算(2641億円)に次ぐ規模となっていました。この資料に載っている14プロジェクトの所要資金総額はRp 21.83兆（1,649億円）、内訳はOperation Stage 2本、Construction Stage 2本、Transaction Stage 4本、Preparation Stage 4本等となっていました。インドネシアの水道関係PPPの動きの一端がわかりました。

水道公論4月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「国際開発金融機関（MDBs）第3回 MDBsの資金調達」（工藤克典さんの執筆）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「スイスのジュネーブ」を掲載します。



定例会・準定例会の計画について

- 海外水ビジネス企業の財務諸表を分析する作業グループのzoom打ち合わせ第7回が4月1日（木）20時から
- ZOOM幹事会が4月9日（金）20時から
- 定例会が4月15日（木）12時から14時。講師はJFEエンジニアリングの福田一美常務。会場は、貸会議室（三田慶応ビジデンス、801号室）を予定。ZOOMも併用。ただし、新型コロナ問題の状況によって変更の可能性はあります。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。